日本の「近代話」

日本語教育学科留学生　EWA KRASSOWSKA（エヴァ クラソフスカ）

dzień dobry 今日は！　dzień dobry 今日は！

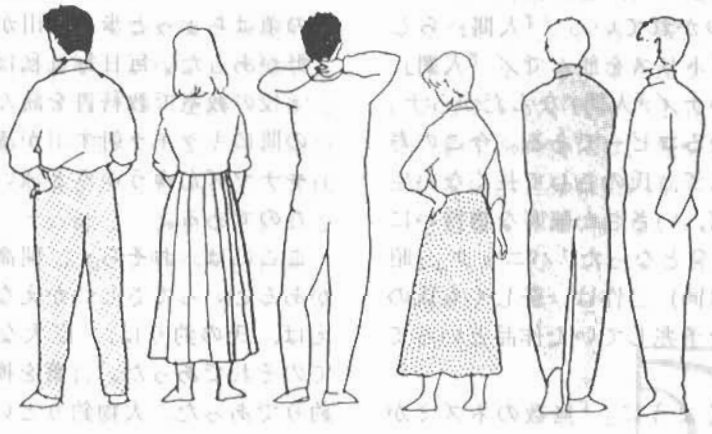
ちょっとすみませんけれども，どうして広大の教育学部などは西条の方に移されてしまったのですか。

私は留学が決まっているということが分かった時に，アッ，近代的ににぎやかな日本という国に行けるようになったと思いました。ルフトハンザの一番大きい飛行機で大阪空港に着いて，日本はやっぱりにぎやかだと感じました。次の日新幹線に乗ってこれは一番早い電車だとずっと考えていたけれども，このすごく早い新幹線で西条というなにもないイナカに来ました。初めて日本に来た留学生はびっくりして「私は国に帰る」と言ったのです。大学の教育学部は西条の方にあるのにどうしてもそこに住みたくないということをすぐ決定しました。友達のお陰でアパートを見つけて広島に来たんですけど，他の留学生はたぶんしかたないと思って西条にいるので退屈しているみたいなようです。日本人の友達はあまり出来ていないし広島まで通うのが大変だから遊ぶことができないでしょう。一年たってから自分の国にどういう日本の印象を持って行くんでしょうか。日本は近代的な国だと言わないでしょう。

私の場合，日本に来た時に「カルチャー」ではなくて物価あるいはプライス・ショックを受けたために店がすごく印象的でした。何回も教えられたのに，なぜ物が同じなのにヨーロッパの値段より日本の方が二・三倍ぐらい高いかということがどうしても分かりません。もちろん日本人の方が月給も高いけど……特に交通費がめちゃくちゃ高いじゃないですか。私はいろいろな有名な所に行ってみたいけど奨学金が足りないから行けなくなります。日本人でもあまり旅行できないでしょう。ただ高いからです。結局は，私は今年の12月の終わりごろに京都や東京までヒッチハイキングで行くしかありません。

でも日本にはいいポイントもありますよ。広島大学がこういう例です。授業がいっぱいあるけれども時々欠席していいということです。たとえば私の場合には専門は「日本語における英語の借用語とか和製英語」なので文学の授業よりテレビを見たり日本人に会うことの方が勉強になるんじゃないかと思いますけど……

今まで3か月がたってから私はもう20冊の本を買って読んでワルシャワ大学のための卒業論文を書きはじめたところです。でも，どうして本はこんなに高いのでしょうか。

もう一つの文句を出したいですけど。私はポーランドという国から来た金髪の者です。母国で普通の人なのに日本に来てから私は本当に大丈夫かという疑いが出来ました。通りを歩くとみんなにじっと見られてしまったり「ヘロ！」という変なあいさつをされたりして時々どこかに隠れたいほど疲れます。日本人は外人に慣れてないみたいです。でも最近

広島にも外国人がいっぱいいるんでしょう。私はいつも外に出ると絶対何人かの外国人に偶然に会います。どうして日本人の子供は私を見ると泣き出したり逃げたりしてすごくびっくりするのでしょうか。私は子供が大好きなんですけど，おばけだとみなされているのでちょっと気持ちが悪いね。私は日本人にもう慣れて来たのに日本人はまだまだ私に慣れてくれないから困ります。